

Special

## Welcome to the Circuit

# 太田哲也さんに聞く

# カートピア

# 誌上ドライビングレッスン



同伴のご家族やご友人もスタッフがドライブするフォレスターやエクシーガに乗り、サーキット走行を体験できる企画もある。

ごく一部のプロドライバーが、高価なレーシングマシンで走行していたひと昔前とは異なり、最近では全国各地に持ち込みの車両でフリー走行できるサーキットやミニサーキットが増えている。サーキットはそれだけ身近な場所になったということだ。しかしながら、いきなりサーキットに行って、走り始めるのはあまりにリスクが大きい。そこで、ここでは自らもサーキット走行体験スクールを運営している太田哲也さん(レーシングドライバー/モータージャーナリスト)を迎えて、実際のスクールの様子も交えながら、“カートピア・誌上レーシングスクール”をおとどけしよう。



### サーキットを走る前に

SUBARU BRZは久々に登場した楽しいクルマだ。環境志向や効率の良さばかりが前面に打ち出されている今の時代にあつて、このようなビュアな走りの魅力を持ったスポーツカーがデビューすることは、とても意義深い。

このクルマがキッカケとなって、日本のクルマ文化が変わっていくかもしれない。私は、昨年のカートピア3月号で、そんなコメントをした。これまでは一部のマニアのものと思われていた参加型モータースポーツが、このクルマを機に広く一般に普及し、その結果、運転技術と知識、マナーを身に付けたドライバーが増え、公道での安全運転に対する意識も高まっていく可能性があると感じたからだ。ただ、そこにはひとつ大切な条件があった。BRZのオーナーが、正しく、安全に運転技術を身に付けていくということだ。そのフィールドとして、サーキットは最適な場所なのである。

クルマやタイヤの性能が今ほど優れていなかった時代は、速度領域も低く、峠道を走って運転技術を磨くということも可能であったかもしれない。しかしながら、クルマの性能が向上し、限界性能が高くなった今、同じことをしようとする、ひとたびクルマが限界



を超えてコントロールを失ってしまふと大きな事故になる。その点、サーキットはセーフティゾーンがきっちり設けられているため、現在のクルマが性能を出し切って走り、万が一限界を超えてコースオフしたりスピンしてしまったりしても大丈夫。今は全国各地にシヨートコースがたくさんあるから、運転の練習をするなら公道ではなく、そのような場所で行なうべきだろう。

## サーキットデビューの第一歩

現在はどこのサーキットでも、スポーツ走行、というフリーに走ることのできる時間帯を用意しており、走ろうと思えばライセンスの取得や決められた安全装備を装着・着用するなどすれば誰でも走ることができるのだが、用具を揃えたら自分のクルマを持ち込んで、さあサーキットへ！ というの

は、ちょっと待ってほしい。

サーキットにはサーキットの、スピードを出して走るためのルールがある。また、そもそもクルマが走り、曲がり、止まるということの物理的なルールもある。たとえ1周を同じタイムで走ることができたとしても、それを知って走ると知らずに走るとでは、まったく意味が異なっている。ブレーキング時の荷重がどのように移動しているのか？ ということや、それを利用していかに無駄のないコーナリングをするか？ ということを知っているドライバーは、クルマが限界を超えた時にどんな動きをするのか分かっていて、常にそれを意識してドライビングすることができている。

一方、闇雲にアクセルを踏み、激しくブレーキをかけているドライバーは、一時は良いラップタイムをたたき出すことができたとしても、それはたまたまラッキーな状況が揃っただけのことで、路面が

濡れたときなど、ちょっとした環境の変化に対応できず、いずれ大きな落とし穴に落ちてしまう。

スキューバダイビングを例にと分かりやすい。機材を準備したからといって、いきなり一人で海に飛び込む人はいない。シヨップが主催するスクールなどに入り、レッスンを受けて海についての基本的な知識やダイビング技術をマスターしてから、ベテランのガイドと一緒に初めて海にエントリーするのが常識だ。それでもちょっとした天候や海流の変化で危険な状況に遭遇することがある。相手は自然だから、毎回同じ状況を与えてくれるとは限らない。だから常に先にある危険を予測して、どんな時にも対処できるように装備と知識を身につけておく必要がある。

サーキットも使うギヤが身近なクルマであるということを除けば、基本的なスタンスはダイビングと一緒だ。パーティシヨップやクラブなど

サーキットを走る前に揃えておきたいアイテム。上からヘルメット(フルフェイスの競輪用がオススメ)、ドライビンググローブ。以上二点は最低限揃えておきたい。更に余裕があれば、ネックホルダー、ドライビングスーツもあると良い。

が主催している初心者向けのドライビングスクールに参加して、サーキット走行のマナーと基本的な知識・技術を身に付け、それから技術に応じて次のステップにチャレンジしていくのが正しいアプローチだ。

## 運転がうまくなれば安全になる

私も3年ほど前から、サーキット走行の愉しさを伝える「Tetsuya OTA 出光 ENJOY & SAFETY」

DRIVING LESSON」を開催している。ねらいは、安全に、かつ理論的にクルマの限界を知り、クルマを全開で走らせる魅力を味わってもらうこと。サーキットを初めて走るといふ方を対象にしており、午前中はクルマの挙動やドライビングの基本について学んでいただき、午後はサーキットに出て、それぞれの運転技量に合った走りを愉しんでいただくというメニューだ。

実はこのレッスンの最終的な目標は、安全運転である。サーキット



「Tetsuya OTA 出光 ENJOY & SAFETY DRIVING LESSON」の座学の模様。太田さんによるクルマの操り方の基本講座の他、毎回多彩なゲスト講師を招いて、貴重なトークを聴くことができる。



## サーキットで過ごす楽しい一日 ワークスチューニング・ サーキットデー開催 (9月21日)

ワークスチューニンググループ(STI、TRD、NISMO、無限の4社で構成)は、「楽しくサーキットを走る」をテーマとした、「ワークスチューニング・サーキットデー2013 ラウンド2」を9月21日(土)に富士スピードウェイショートコース(静岡県)で開催する。

当日イベントの趣旨は普段使っているマイカーでサーキットを走る楽しさを体験しながら、各社契約のプロドライバーによるドライビングレッスンや同乗走行を通じて、ドライビングスキルの向上とクルマを操る楽しさを体感してもらうというもの。ドライビングスキルによって、エンジョイ、ベータック、チャレンジといったクラス分けを行っており、ビギナーから上級者までそれぞれのレベルに合わせた走りを楽しむことができる。また、ワークスチューニング各社のアドバイザーにマイカーのメンテナンスやチューニングなどを相談できるコーナーや、各社デモカーによる模擬レース、来場者全員が参加できる賞品争奪ジャンケン大会などのお楽しみイベントも実施予定。

ヘルメット、レーシンググローブなどの装備は各自で用意することになっているが、エンジョイクラス参加者にはこれら装備品のレンタルも行なっている。キッズコーナーやフードコーナーなども設置されるので、家族揃ってサーキットでの一日を楽しむことができる。

2013年 Rd2「ワークスチューニンググループ サーキットデー」概要

- 開催日:2013年9月21日(土) 富士スピードウェイショートコース
  - 講師:西原正樹(STI)、松田実生(NISMO)、山本尚貴(無限)、調整中(TRD)
  - 参加資格:普通免許所持者
  - 参加車両:スバル車、トヨタ車(レクサス含む)車、日産車、日産車で、ナンバー(個人)保安)
  - 参加費用:エンジョイクラス8000円、ベータッククラス1万2000円、チャレンジクラス1万2000円
  - 募集台数:各クラス合計132台
- (問) <http://www.procrews.co.jp/workstuning/>

トを走り回って、安全運転」と言う意外に思われる方もいるかもしれない。しかし、冒頭に述べたように私はサーキットを走ることによって運転がうまくなるのが、安全運転につながるかと考えている。クルマをうまく操るといえることは、安定して早く曲がることができ、減速したいときにはどんなコンディションでも着実にヒタリと減速することができるといふことだ。そのためには、クルマがいかんして走り、曲



がり、止まるのかを物理の法則を踏まえて理解し、その法則に従って動くクルマの挙動を身体で感じることが大切なのである。クルマを全開で制御できるサーキットはその格好の舞台だ。また、サーキットを思い切り走るといふのはそれだけで普段は味わえない、楽しさがある。興味を持って楽しみながら学ぶと、身に付くのも早い。

### SUBARU BRZは、 運転を楽しむためのクルマ

スポーツカーと言えば、従来はターボチャージャーを搭載したりエンジンの排気量を大きくしたりして、大きな馬力でいかに速く走るかを目指したクルマが多かった。しかしながら、SUBARU BRZはそのようなスポーツカーとはまた別の価値を提案したクルマだと思う。クルマの持つ新たな

価値とは何か? それはドライビング、運転する楽しさ、という価値だ。

2.0ℓ水平対向NAエンジンを搭載したBRZは、大排気量のスポーツカーと比較すると確かに非力だ。大排気量エンジンがもたらす圧倒的な速さは、クルマの大きな魅力である。しかし、クルマの魅力はそれだけではない。操る楽しさ、も大切な価値なのだ。初めてBRZというクルマを見たとき、SUBARUは、速さを求めずともドライビングを楽しむことができるクルマを造ったのではないかと考えた。サーキットでこのクルマを操ること、制作者が意図した狙いはより明確に伝わってくる。速さとは異なる、操る楽しさというクルマの価値が、BRZとサーキットを通して、より多くの人に伝わっていくことを期待している。(談)



## 初心者大歓迎! 「Tetsuya OTA 出光 ENJOY & SAFETY DRIVING LESSON with SUBARU」開催 (9月8日)

9月8日(日)千葉県の袖ヶ浦フォレストレースウェイで、「Tetsuya OTA 出光×ホリデーオート ENJOY & SAFETY DRIVING LESSON with SUBARU」が開催される。

当日は同乗走行用の車両としてSUBARU BRZが用意されるほか、SUBARU BRZ tS も展示予定。また、WRX tS type RAの開発を手がけた森宏志(STI商品開発部 担当部長)も来場。家族参加のサーキットタクシーやトークショーも開催予定。

開催概要

【日時】9月8日(日)8:00~17:00(予定)

【場所】袖ヶ浦フォレストレースウェイ

【参加費】

エンジョイ・ドライビングレッスン 1万8000円

セイフティ・サーキットレッスン 2万円

スポーツ走行会(スパタイGP参加費含)2万6000円

\*スバルオーナー1000円キャッシュバックあり

お申し込み・お問い合わせ先

太田哲也スポーツドライビングスクール事務局

TEL 045-948-5540 <http://sportsdriving.jp/>

E-mail:info@sportsdriving.jp